本ペーパーの掲載情報は、ウェルココWebサイト掲載情報と一部内容が異なる場合があります。

産業医や保健師などの医療資格者によるサービス

株式会社ドクタートラスト

産業医や保健師などの医療資格者が、企業ではたらく人の健康管理をサポートします。

https://doctor-trust.co.jp

サービス分類・提供内容（選択式）			サービス概要・特徴（500文字以内）
体制・業務構築支援	産業保健体制構築支援	○	産業医や保健師などの医療資格者が企業を訪問し、健康診断結果に基づく健康指導や過重労働者面談を行います。全国3,100名以上の登録産業医から最適な医師をご紹介。企業様に選考や面接をしていただき、日程調整などは当社がすべて対応。選任・契約が確定するまで費用は一切かかりません。 さらにご契約時には、規程のひな型や衛生委員会でそのまま使える資料等を提供しており、初めてでも安心して産業保健体制を整備いただけます。 その他、保健師のご紹介や有資格者（保健師・公認心理師など）によるEAPサービス、休職・復職支援、緊急時メンタル支援など、幅広く展開しています。 研修やセミナー、コンサルティングも提供し組織の健康経営を多面的に支援します。 これらは法令遵守を確実にするだけでなく、従業員の健康維持やパフォーマンス向上、メンタル不調の早期発見と離職防止、職場環境の改善やエンゲージメント向上といった課題解決にも直結します。 産業保健の推進は「義務対応」にとどまらず、人材が安心して楽しく働ける環境を整えることで企業の成長や発展につながると私たちは確信し、その実現に向けたサービスを提供しています。
	健康経営推進支援	○	
	ストレスチェック制度対応支援	○	
	ハラスメント対策支援	○	
	過重労働対策支援	○	
	復職支援に係る体制・業務構築支援	○	
	人事・労務向けアドバイザリー	○	
調査・分析支援（人的支援）			
現状把握・分析システム	ストレスチェックシステム		
	パルスサーベイ・従業員意識調査		
	健康・労務データ統合分析システム		
組織づくり・職場環境改善	組織開発コンサルティング	○	
	管理職向け研修	○	
	従業員向け研修	○	
管理職向け個別支援		○	
従業員支援	相談窓口・カウンセリング	○	
	セルフケア研修	○	
	セルフケア支援アプリ		
	復職支援	○	

期待される効果		根拠の詳細		
【凡例*】◎:実証評価>○:導入企業の評価>●:理論的裏付け		導入企業の評価	理論的裏付け	実証評価
基盤整備	1. 法制度対応	○	●	–
	2. 制度・施策体系の整理	○	●	–
	3. 人事・産業保健業務の効率化・負担減	○	●	–
	4. 組織状況の把握	○	●	–
取組の普及・浸透	5. サーベイ受検率向上			
	6. 相談窓口の利用率・認知率向上		●	
	7. プログラムへの参加率・利用率向上			
	8. 不調の早期発見・対応	○	●	◎
	9. ヘルスリテラシー・意識向上			◎
	10. 仕事のストレス要因低減		●	
	11. 心理的安全性・上司のサポート力向上			
	12. 周囲のサポート力向上			
心の健康・業務パフォーマンス	13. 生活習慣の改善			◎
	14. 健康状態・心理指標改善		●	◎
	15. アブセンティーイズム改善			
	16. プレゼンティーイズム改善			
	17. ワーク・エンゲイジメント向上			
	18. 従業員エンゲージメント向上			
	19. 労務指標改善（離職率、残業時間等）			

*ウェルココ上で掲載される際に複数の根拠がある場合は、凡例の優先順で表示されます。

導入企業の評価（500字以内）

【お取引先さまにアンケートを実施】
回答者数：342名、実施時期：2024年9月2日～9月20日
質問内容：サービス全般に対する満足度、選んだ理由、コスパについて等
https://doctor-trust.co.jp/company/customersurvey/

・サービス全般に満足いただいている方は全体の96.5%
・サービスに対するコストパフォーマンスに満足いただいている方は全体の92.7%
・問い合わせや見積り、相談に対するフォローに満足いただいている方は全体の95.9%
※「非常に満足」「満足」「やや満足」「やや不満」「不満」「非常に不満」の6選択肢のうち、前3つのポジティブ回答の合計割合

【コメント例】
・産業医の先生数名と面談したうえで弊社に合う先生を選ぶことができたことや、そのプロセスも含めてスムーズな対応をしていただいたことに満足しています。
・弊社のような全国規模かつ事業所多数の企業に対し、全国を網羅しての産業医をご紹介いただいています。

理論的裏付け（500字以内）

本サービスでは、従業員支援プログラム（Employee Assistance Program, EAP）を理論的枠組みとして採用しています。EAPは1940年代の米国において発展し、現在では従業員のメンタルヘルスや職場適応を包括的に支援する枠組みとして国際的に普及しています。研究者のPaul Roman（ジョージア大学社会学部）らにより理論的整理が進められ、職場ストレスの低減や生産性の維持、離職防止に有効であることが示されています。

当社の外部相談窓口サービスにおいても、このEAPの理論に基づき、従業員が安心して利用できる匿名性・中立性を重視した相談体制を整えています。これにより、従業員は職場では話しづらい悩みを早期に共有することができ、ストレスの深刻化を防ぐとともに、組織全体の健康保持と職場環境改善につなげています。さらに、相談内容を集約・分析し、企業にフィードバックすることで、職場課題の把握と改善施策の立案にも役立てています。

実証評価

学術介入の有無	エビデンスの水準
学術研究機関等が介在しない独自の効果検証	単純前後比較などの準実験的研究（介入研究）

（学術介入有りの場合）氏名・所属・専門、掲載文献・発表した学会・演目名（500字以内）

実証評価の結果概要（500字以内）

本サービスは、対象者の生活習慣病予防・改善、また生活習慣改善のための自主的な取り組みを継続できるようになることを目的に、保健師・管理栄養士による約3か月間の継続的な支援を実施しました。
【対象者：A社に勤務する914名の従業員】
積極的支援においては①初回面談（30分間）②1か月後面談（15分間）③2か月後面談（15分間）④実績評価面談（15分間）の全4回の遠隔面談介入、動機付け支援においては①初回面談（30分間）②中間面談（15分間）③実績評価面談（15分間）の全3回の遠隔面談介入を行いました。

積極的支援514名、動機付け支援400名が対象者として参加し、3月の間に順次初回面談を実施。プログラムの完走率は100%でした（服薬開始・退職による途中終了を除く）。

初回面談と、約3か月後の実績評価にて聴取した体重・腹囲を比較し、解析した結果、約3か月間で体重2kgの減量を達成した者は27.6%（244名）、腹囲2cmの減少を達成した者は23.7%（209名）という結果が得られました。
本サービスにより、体重・腹囲に変化をもたらす生活習慣の改善に効果があると考えられます。

産業医や保健師などの医療資格者によるサービス　株式会社ドクタートラスト

様式3 導入企業の評価

該当する効果		
基盤整備	1. 法制度対応	○
	2. 制度・施策体系の整理	○
	3. 人事・産業保健業務の効率化・負担減	○
	4. 組織状況の把握	○
取組の普及・浸透	5. サーベイ受検率向上	
	6. 相談窓口の利用率・認知率向上	
	7. プログラムへの参加率・利用率向上	
	8. 不調の早期発見・対応	○
	9. ヘルスリテラシー・意識向上	
	10. 仕事のストレス要因低減	
	11. 心理的安全性・上司のサポート力向上	
	12. 周囲のサポート力向上	
心の健康・業務パフォーマンス	13. 生活習慣の改善	
	14. 健康状態・心理指標改善	
	15. アブセンティーイズム改善	
	16. プレゼンティーイズム改善	
	17. ワーク・エンゲイジメント向上	
	18. 従業員エンゲージメント向上	
	19. 労務指標改善（離職率、残業時間等）	

実施概要・結果

産業医の紹介、保健師の紹介／衛生委員会のアドバイザリーやサポート／特定保健指導／研修・セミナー／人材開発・職場環境改善コンサルサービス／外部相談窓口(EAP) ／休職・復職支援／緊急時メンタルヘルスサポート／個人向け睡眠カウンセリングサービスなど

https://doctor-trust.co.jp/company/customersurvey/

- サービス全般に満足いただいている方は全体の96.5%。（「非常に満足」「満足」「やや満足」「やや不満」「不満」「非常に不満」の6選択肢のうち、前3つのポジティブ回答の合計割合）
- サービスに対するコストパフォーマンスに満足いただいている方は全体の92.7%。

（「非常に満足」「満足」「やや満足」「やや不満」「不満」の5選択肢のうち、前3つのポジティブ回答の合計割合）

- 問い合わせや見積り、相談に対するフォローに満足いただいている方は全体の95.9%。

（「非常に満足」「満足」「やや満足」「やや不満」「不満」「非常に不満」の6選択肢のうち、前3つのポジティブ回答の合計割合）

成果・評価コメント　※「該当する効果」との対応がわかるよう（ ）内に効果のNoを付記する

https://doctor-trust.co.jp/company/customersurvey/
アンケートのコメントより抜粋

- 産業医の先生数名と面談したうえで弊社に合う先生を選ぶことができたことや、そのプロセスも含めてスムーズな対応をしていただいたことに満足しています。（人事・産業保健業務の効率化・負担減）
- 弊社のような全国規模かつ事業所多数の企業に対し、全国を網羅しての産業医をご紹介いただいています。（制度・施策体系の整理）
- 営業ご担当者の方のみならず、事例によっては専門部署のご担当者の方にもサポートフォローをしていただきありがたく感じています。
- 衛生委員会の立ち上げから細やかなフォローいただき大変助かりました。議事録のひな形や産業医面談の質問のリストまでいただき、困った時にすべて解決していただきました。（制度・施策体系の整理）
- ストレスチェックの集団分析は、とても良くできており価格以上の価値があると感じます。（組織状況の把握）
- 産業医、ストレスチェックサービス、外部相談窓口サービスをワンストップでお願いできているので効率的で助かっています。（プログラムへの参加率・利用率向上／人事・産業保健業務の効率化・負担減）
- 契約前、弊社は産業医との連携や衛生委員会についてほとんど知識がない状態でした。そんな中ドクタートラスト様と出会い、サービスのご提供だけでなく、運用方法や基本知識、アドバイスまでいただけましたのでかなりスムーズに整えられたと感じております。（ヘルスリテラシー・意識の向上／制度・施策体系の整理）
- 復職支援の際にも柔軟に対応いただき、安心して復帰できました。（不調の早期発見・対応）
- 会社として安定感がありますし、コンテンツやサービスを利用することで衛生管理者の負担も少なくなると感じます。
- システム導入の検討にあたり、貴社の営業担当者には大変お世話になりました。他社との具体的な違いについて、非常に分かりやすく丁寧にご説明いただき、導入を決断する上で大変参考になりました。また、我々が抱えていた問題や課題に対しても的確なアドバイスをいただき、その内容に大きく助けられました。（仕事のストレス要因の低減）

評価者情報

個社ごとの評価結果を根拠とする場合	企業名①		業種	
	部署名・役職		従業員規模	
	企業名②		業種	
	部署名・役職		従業員規模	
	企業名③		業種	
	部署名・役職		従業員規模	
	企業名④		業種	
	部署名・役職		従業員規模	
	企業名⑤		業種	
	部署名・役職		従業員規模	
複数社からのアンケート結果を根拠とする場合	アンケート対象及び回答社数	342名（ドクタートラストのお取引担当者さま）		
	実施時期・方法	実施時期、実施方法：2024年9月2日～9月20日、Webアンケート方式		
	主な設問内容	サービス全般に対する満足度、選んだ理由、コスパについて、サポート体制について、他社にすすめたいかどうか等		

産業医や保健師などの医療資格者によるサービス

株式会社ドクタートラスト

様式4 理論的裏付け

該当する効果		
基盤整備	1. 法制度対応	○
	2. 制度・施策体系の整理	○
	3. 人事・産業保健業務の効率化・負担減	○
	4. 組織状況の把握	○
取組の普及・浸透	5. サーベイ受検率向上	
	6. 相談窓口の利用率・認知率向上	○
	7. プログラムへの参加率・利用率向上	
	8. 不調の早期発見・対応	○
	9. ヘルスリテラシー・意識向上	
	10. 仕事のストレス要因低減	○
	11. 心理的安全性・上司のサポート力向上	
	12. 周囲のサポート力向上	
心の健康・業務パフォーマンス	13. 生活習慣の改善	
	14. 健康状態・心理指標改善	○
	15. アブセンティーイズム改善	
	16. プレゼンティーイズム改善	
	17. ワーク・エンゲイジメント向上	
	18. 従業員エンゲージメント向上	
	19. 労務指標改善（離職率、残業時間等）	

採用する理論的枠組みの概要　※「該当する効果」との対応がわかるよう（　）内に効果のNoを付記する

本サービスでは、従業員支援プログラム（Employee Assistance Program, EAP）を理論的枠組みとして採用している。EAPは1940年代の米国において発展し、現在では従業員のメンタルヘルスや職場適応を包括的に支援する枠組みとして国際的に普及している。研究者のPaul Roman（ジョージア大学社会学部）らにより理論的整理が進められ、職場ストレスの低減や生産性維持、離職防止に有効であることが示されている。当社の外部相談窓口サービスにおいても、このEAPの理論に基づき、従業員が安心して利用できる匿名性・中立性を重視した相談体制を整え、職場環境改善や従業員の健康保持増進に寄与している。

EAPは、従業員が抱える個人的・職業的問題に対して、外部の専門家が中立的に支援を行うことで、早期対応と問題解決を促進し、結果としてメンタルヘルス不調の予防や生産性の維持に効果があるとされている。本サービスにおいては、外部相談窓口を設置し、従業員が匿名で安心して相談できる環境を提供している。これにより、従業員は職場では話しづらい悩みを早期に共有でき、ストレスの深刻化を防ぐとともに、組織全体の健康保持と職場環境改善につなげている。さらに、相談内容を集約・分析し、企業にフィードバックすることで、職場課題の把握と改善施策の立案に役立てている。

理論的枠組みの活用方法

保健師・公認心理師・精神保健福祉士・管理栄養士・保育士など、国家資格を有する専門家が従業員のさまざまな悩みに対応する外部相談窓口サービス（EAP）。
労働施策総合推進法（パワハラ防止法）、男女雇用機会均等法、育児・介護休業法に基づき、企業には職場におけるハラスメントに関する相談窓口の設置義務がある。本サービスはその法的義務を外部相談窓口として支援し、組織状況の把握にもつなげる。（法制度対応／組織状況の把握）

外部相談窓口のフィードバック報告書を通じて、職場改善提案やハラスメント対策施策を整理・体系化することに寄与。（制度・施策体系の整理）
相談内容は、心身の健康相談、職場のハラスメント相談、育児の相談など幅広く対応可能。
従業員から受けた相談は、許諾を得た範囲で会社へ報告。相談内容を職場改善にフィードバックし、業務上のストレス要因を低減することを目指す。（仕事のストレス要因の低減）

専門職が相談を受けることで、病気や不調の早期発見につなげる。睡眠や食事管理などの専門的アドバイスを行う。（不調の早期発見・対応）

本サービスには、従業員周知用ポスターやリーフレットの作成が含まれる。利用者専用の特設サイトを共有し、利用方法やQ&Aの動画を公開することで不安を払拭。オプションで、電話番号や予約サイトQRコードを記載した会員証の作成も可能。従業員が会員証を持つことで、いつでも気軽に相談できる体制を実現。（相談窓口の利用率・認知率向上）

産業医や保健師などの医療資格者によるサービス

株式会社ドクタートラスト

様式5 実証評価

実証デザイン	介入・観察対象	A社に勤務する全従業員のうち、特定保健指導対象者の基準に当てはまる従業員914名
	介入・要因	積極的支援においては ①初回面談（30分間）②1か月後面談（15分間）③2か月後面談（15分間）④実績評価面談（15分間）の全4回の遠隔面談介入、 動機付け支援においては ①初回面談（30分間）②中間面談（15分間）③実績評価面談（15分間）の全3回の遠隔面談介入を行った。
	比較対象	介入前のアウトカム測定値
	アウトカム	体重、腹囲の実測値
	エビデンスの水準	単純前後比較などの準実験的研究（介入研究）
学術介入	学術介入の有無	学術研究機関等が介在しない独自の効果検証
	（学術介入有りの場合） 氏名・所属・専門、掲載文献・発表した学会・演目名	

該当する効果		
取組の普及・浸透	5. サーベイ受検率向上	
	6. 相談窓口の利用率・認知率向上	
	7. プログラムへの参加率・利用率向上	
	8. 不調の早期発見・対応	○
	9. ヘルスリテラシー・意識向上	○
	10. 仕事のストレス要因低減	
	11. 心理的安全性・上司のサポート力向上	
	12. 周囲のサポート力向上	
心の健康・業務パフォーマンス	13. 生活習慣の改善	○
	14. 健康状態・心理指標改善	○
	15. アブセンティーイズム改善	
	16. プレゼンティーイズム改善	
	17. ワーク・エンゲイジメント向上	
	18. 従業員エンゲージメント向上	
	19. 労務指標改善（離職率、残業時間等）	

実証結果

産業医や保健師などの医療資格者によるサービス「基準に基づく対象者へ向けた生活習慣病予防・改善を目的とした特定保健指導プログラム」

本プログラムは、特定保健指導対象者を対象とし、対象者の生活習慣病予防・改善、また生活習慣改善のための自主的な取り組みを継続できるようになることを目的に、保健師・管理栄養士による約3か月間の継続的な支援を実施する。厚生労働省が公表している「標準的な健診・保健指導プログラム（令和6年度版）」に基づき、積極的支援においてはアウトカム評価、プロセス評価を合計した実施ポイント数が180ポイント以上となるよう初回面談以降の介入を実施し、動機付け支援においては初回面談と実績評価を行う（必要に応じて追加支援を実施）。介入方法は情報通信技術を活用した遠隔面談、対面面談、電子メール支援等を状況に応じて組み合わせる。面談では体重・腹囲の聴取や目標達成に向けたプラン作成、生活習慣改善に向けた助言を行う。

積極的支援514名、動機付け支援400名が対象者として参加し、2024年10月～2025年3月の間に順次初回面談を実施した。プログラムの完走率は100%であった（服薬開始・退職による途中終了を除く）。初回面談と、約3か月後の実績評価にて聴取した体重・腹囲を比較し、解析した結果、約3か月間で体重2kgの減量を達成した者は27.6%（244名）、腹囲2cmの減少を達成した者は23.7%（209名）という結果が得られた。本プログラムへの参加によって、体重・腹囲に変化をもたらす生活習慣の改善に効果があると考えられる。
また継続的な面談や体重・腹囲の測定により、生活習慣の変化や体調不良の兆候を早期に把握できる体制が整い、不調の早期発見と対応につながった。
最終的には、参加者が自身の生活習慣を客観的に理解し、改善行動を継続する意識が高まった。プログラムを通じて従業員のヘルスリテラシー向上が確認された。